

※資料 インリアル (INREAL) について

インリアルとは1974年、米国コロラド大学で開発された INREAL (Inter Reactive Learning and Communication) は、子どもと大人が相互 (Inter) に、より良く反応 (Reactive) しあうことを通して、子どもの学習や、コミュニケーション能力を向上させることを目指すものである。

したがって、子どものコミュニケーションの問題に目を向けるだけでなく、かかわる大人のコミュニケーション・センシティブティをも問うものである。つまり、大人が、どのようなかかわりや言葉かけをしていくことが、ひいては、子どものコミュニケーション能力を育てることにつながるのかを、VTRを用いて検討を加えていこうというものである。

小学部では、インリアルの基本理念を学ぶに留め、VTRを用いた検討は行っていない。なお、以下のようなインリアルの言語心理学的技法も参考にして。

| | |
|----------|---|
| ミラリング | 子どもの行動そのままねます。子どもに自分の行為が相手に与える力に気づかせるのに有効です。 |
| モニタリング | 子どもの音声をそのままねます。ミラリングと同様のねらいがあります。 |
| | 子どものことばをそのままねます。子どものことばが大人に伝わっていることを伝えます。 |
| パラレルトーク | 子どもの行動や気持ちを言語化します。大人が子どものことに関心があることや、ことばの意味を知らせます。 |
| セルフトーク | 大人の行動や気持ちを言語化します。大人が何をしているのか、どんな気持ちかを伝えます。 |
| リフレクティング | 子どもの誤った発音やことばの使い方を正しく聞かせます。訂正するのではなく、正しいことばを聞かせます。 |
| エクスパンション | 子どもの言ったことばの意味や文法を広げて返します。一語文には、二語文で返すことで意味と文法を広げます。 |
| モデリング | 子どもの話題に沿いながら、会話のモデルを示します。 |

(本校 平成4年度 研究集録 注2)